

## 尾ノ上の風 III

第16号

学ぶ きたえる 助け合う

文責：校長 村上 正祐



## 2学期のスタートを迎えて

今日から2学期が始まりました。

久しぶりに尾ノ上小学校に子どもたちの元気な姿と声が戻ってきました。やはり子どもたちがいてこそその学校だと実感しました。ただ、感染症拡大を心配して登校を見合わせた子どもたちもいたことを思うと胸が痛みます。

さて、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大が止まりません。それを受けて、8月23日に教育委員会から分散登校とオンライン授業を実施する通知があり、尾ノ上小学校でも急ピッチで準備を進めてきました。

最優先は子どもたちの安全です。分散登校時の防犯や交通事故も心配ですし、感染しないための日常のくらしを送ることができるような体制も日々点検し、見直していかなくてはなりません。

ただ、感染症対策は学校だけでは限界があります。これまでご家庭でも感染防止対策をとっていただいています。更なるご理解、ご協力をお願いします。例えば、これまでは布マスクでもよかったのですが、文科省から不織マスクを強く推奨してきています。8月27日に安心メールにPDFで添付した資料を配信しております。今一度、ご確認くださいませようお願いします。



友達と楽しそうに登校する子どもたち

## 自分で考え、生活のルールを守れる人に



夏休み中に、学校へケガの連絡がありました。ケガをしたお子さんの1日も早い回復を願うばかりです。感心したのは、ケガをした子どもの周りの友達が機転をきかせて素早い対応をしてくれたことです。それ以外に大きな事故や事件に巻き込まれたという連絡はなく、今日の始業式に元気に登校できたことは本当によかったと思います。

ただ、残念なことに夏休み前にくらしについて、生徒指導の東田主幹や担任の先生からも話をしていたと思いますが、遊泳の禁止されている場所で泳いでいた児童がいたと教育委員会から連絡がありました。幸い事故にあわなかったのですが、夏休みに入ってすぐに熊本市の小学生が川に転落した事故がありましたので、大変に心配をしました。始業式では、命を大切にできるような自分の行動をコントロールできる人になって欲しいと話をしたところです。